

リオ2016から東京2020へ スポーツ文化の視点から2020を考える

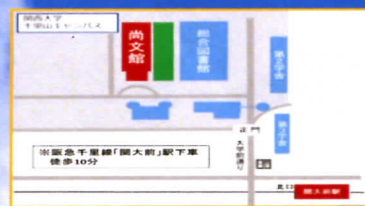
2016年リオデジャネイロ・オリンピックは日本代表の活躍にわきました。本セミナーではオリンピックのレガシー、スポーツ文化、地域社会、市民スポーツ、スポーツ支援、安全管理などの観点から東京2020を考えます。

第一部では西山哲郎研究員と杉本厚夫研究員から基調報告、増田明美研究員からリオ五輪の現地からのテレビ解説の経験をふまえた提言をしていただきます。第二部では、8月28日に開催された北海道マラソンで10年ぶりの優勝を遂げられた吉田香織選手と打越忠夫コーチをゲストにお招きし、市民ランナーの星と呼ばれるようになるまでの復活の道のりと、企業によるアスリート支援の新たな可能性についてお話しいただきます。第三部ディスカッションでは2020に向けた課題について話し合います。<スポーツ・健康と地域社会研究班 主幹・総合司会 亀井 克之>

10/5 (水)

14:00 - 17:00

会場
関西大学千里山キャンパス
尚文館 1階
マルチメディアAV大教室



第1部 14:00~15:00

14:00-14:15 「オリンピック・パラリンピック大会のレガシー」

西山哲郎 スポーツ・健康と地域社会研究班研究員 人間健康学部 教授

14:15-14:30 「地域とスポーツ文化 -東京2020に期待すること-」

杉本厚夫 スポーツ・健康と地域社会研究班研究員 人間健康学部 教授

14:30-15:00 「リオの舞台裏から」

増田明美 スポーツ・健康と地域社会研究班委嘱研究員
大阪芸術大学芸術学科教授 スポーツジャーナリスト

入場無料・申込不要



増田明美

第2部 15:00~16:00

15:00-15:10 「健康経営とスポーツ支援 -保険市場による大阪マラソンの取り組み-」

亀井克之 スポーツ・健康と地域社会研究班主幹 社会安全学部 教授

15:10-16:00 「市民ランナーの星はいかに誕生したか

-2020に向けたアスリート支援 & 2020以降のアスリート支援の提案-

ゲスト 吉田香織 マラソンランナー

- 2016年 第30回 北海道マラソン 女子の部 優勝
- 2016年 Wings for Life World Run 女子の部 世界チャンピオン
- 2015年 第1回 さいたま国際マラソン準優勝 (日本人1位)
- 川内優輝と並ぶ市民ランナーの星。競技で活躍すると同時にさまざまなイベントでランニングの楽しさを伝えている。

ゲスト 打越忠夫 マラソン指導者

- 93年世界選手権マラソン5位。ユニークな指導法で多くのランナーを指導。
- 2015年から吉田香織選手を指導し、活躍を支えている。

休憩

第3部 16:10~17:00 質疑応答 & ディスカッション



吉田香織



打越忠夫



お問い合わせ先
関西大学
研究所事務グループ

〒564-8680吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-1179
FAX:06-6339-7721
E-mail : keiseiken@ml.kandai.jp

